

# 原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2009年3月9日 No. 19

## 新署名著名人大判幕に大注目!



### 観光客の視線が集中

長崎県原水協は3月9日、平和公園で6・9署名行動をおこないました。著名人大判幕は初公開でしたが、観光客の視線が集中し、多くの人が足を止め署名してくれました。参加者は6人で180筆の署名が集まりました。

また、長崎市原水協は同日昼休み時間に、長崎市役所玄関前バス停付近で大判幕を掲示して行った署名行動には8人が参加。40分の行動で60筆が寄せられました。大判幕の宣伝効果は抜群で、通りすがりの方々の多くが署名してくれました。

### カメラ付き携帯電話で写真を撮る人も

2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議にむけて圧倒的な国民世論を集めるため、日本原水協と東京原水協、日本平和委員会、上野の森に広島・長崎の火を永遠に灯す会などは3月9日、上野公園で3・1ピクニック後初の6・9行動を行いました。

「原爆と人間」展パネルを並べ、「核兵器のない世界を」署名に賛同する益川さんや張本さんら著名人の顔が入った署名大判幕(縦170×横120cm)でアピールしながら署名をよびかけました。

母親が1歳3ヶ月の時に長崎で被爆し、自身も広島で30年間育ててきたという被爆2世の男性は「核保有国のリーダーは、広島の資料館を見てほしい」、祖父



母が広島で被爆し、生活の中で苦勞をずっと見てきたという広島3世の女性は「戦争は絶対にしてはいけなしい、核兵器も持ってはいけなしい」と署名。著名人大判幕をカメラ付き携帯電話で写真に撮っていた男性は、昨年10月に日本に来た中国人留学生。「日本人には本当にお世話になっているので、平和が欲しい」と語りながら署名してくれました。都内から来た小さな子ども連れの女性は「核兵器はなくなるといいですね」と言いながら署名しました。

行動には17人が参加し、署名79筆、1610円の募金が寄せられました。



## 通りすがりの人の関心集める

大分県・市原水協は3月6日、大分市中心部のデパート前で、著名人の顔入りの大判幕を掲示して6・9署名行動を行いました。通りすがりの人が立ち止まって見入り署名に協力する姿がありました。

大判幕は街中でもよく目立ち、通行人も関心をあつめていました。行動には5団体5人が参加し、署名36筆とカンパ1100円が寄せられました。大分・遠入健夫

## 愛吉・すずのバラを手渡ししながら

被災から55年にあたる3・1ピキニデーにあわせて熊本県原水協は3月1日、熊本市内で核兵器なくせ署名行動を行い、民医連の若い職員を中心に20人が参加。原爆写真を展示しながら署名を呼びかけました。また、被曝後半年で亡くなった久保山愛吉さんが静岡県の自宅で育て愛したバラの花を300本用意し、署名の訴えに応じてくれた人に差し上げ、ピキニ事件を忘れないでと訴えました。30分ほどでバラが無くなり終了し、826筆の署名が集まりました。



## 3・1ピキニデー広島集会大盛況

広島県原水協は3月1日、「ピキニ水爆実験55周年記念3・1ピキニデー広島集会」を広島原爆資料館地下で開き、150人を超える参加者で大きく盛り上がりました。この会場で発言した林紀子新婦人県本部会長の報告がその後も大きな話題を呼んでいます。

報告は、新婦人が毎月1回、原爆ドーム前で続けている「核兵器のない世界を」の署名行動での出来事です。若いアベックに林さんが署名を求めると、男性の方がこころよく応じました。林さんが「アメリカとロシアが世界の核兵器のほとんどを持っているのですからね」と説明していると、隣の若い女性が「エー本当？北朝鮮がいちばん持っているのだと思った」と驚きの声をあげたということでした。

会場の参加者も子の報告に唖然としていました。そして参加者のひとりが家に帰って20歳の娘さんに同じ質問をしたところ、「一番はアメリカ」という答えにホッとして、「二番目は」と質問すると、「北朝鮮」「イラン」が続いたそうです。このことは地域原水協の会議でも話題になり、「教育が問題」「マスコミが問題」「でも私たちに出来ることはしよめいをしっかりと広げること」と改めて草の根の署名行動、原爆展の開催に熱意を燃やしていました。

## 50万目標達成のため署名推進委員会ひらく

福岡県原水協は3月3日、署名推進委員会を開き、2010年NPT再検討会議に提出する署名50万目標を達成するため、すべての地区原水協、加盟団体が目標を決め、節を決めて、署名グッズを活用しながら取り組むことを決めました。

目標を決めている地区原水協は福岡14万、八幡3万8千、加盟団体：平和委員会1万、新婦人6万、民医連6万1千です。また、署名をニューヨークに持っていくために、「署名をしてくれた人に一筆10円のカンパをお願いしよう」と決めました。この呼びかけは、2月の全国理事会で福岡県が提起し、いま、全国の仲間から「これはいいアイデアだ」と街頭での署名呼びかけに取り入れられています。また、3・1ピキニデーに参加した人のうちから、7名がニューヨーク行きを希望しました。

## 姉妹都市に原爆パネル贈呈運動はじめる

新日本婦人の会は全国で署名にとりくみ、3月2日の時点で15万筆を超えています。東京・台頭支部では、昨年の原水爆禁止世界大会でピースチャレンジを達成したクッキー班の親子リズム子組みが「姉妹都市へ原爆パネルを届けよう」と2月末の例会で話し合いました。姉妹都市はオーストラリア・マンリー市などです。リズム体操後、組写真と英文の署名、お手紙を持ち込んで、3・1ピキニデーや核兵器廃絶の流れが特集された『新婦人しんぶん』を読み合わせしながらピキニデーについても説明。組写真を小組で買ってメッセージもみんな書いて送ることになりました。